

大樹町立大樹小学校

指定年度：H24～
児童数：274名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

笑顔で登校、笑顔で下校…子どもたちが通いたい学校を目指して

現在、この方針のもと、子どもの豊かな成長を「チーム大樹小」として支えている。子どもたちが「学校に行きたい」「学校で学びたい」と思えるように、知・徳・体のバランスを重視し、意欲的に学習できる教育活動を推進している。特に、日々の授業改善、キャリア教育を推進し、過去の全国学力・学習状況調査や学校評価の結果からうかがえる、本校の課題「学力向上」と「自己肯定感の向上」を解決するために、組織的な取組を進めている。

①【学習環境の整備】

本校では、「7つのきまり」、「環境の整理整頓」を徹底し、どの学級でも同じ環境で学習できるよう取り組んでいる。また、授業では学習目標と正対した学習課題が常時示され、どの学年・学級でも授業水準が保たれている。



【授業中の構造的な板書】

②【メンター研修】

本校では、将来のスクールリーダーを育成することをねらいとして初任段階の教師を対象としたメンター研修を定期的に行っている。若手教師は、先輩教師から校務の取り組み方や授業についての教育技術を学び、「教師力」を高めている。



【先輩教師によるメンター研修】

③【大樹学の推進】

現在、大樹町ではキャリア教育の充実を図るため、小中高12年間を見通した「大樹学」を実施している。「大樹学」では、CSを始め地域の協力を得ながら、本物に触れ合う「ふるさと教育」を行っている。発達の段階に応じた教育活動を行うことによって、ふるさと大樹町を深く知り、地元愛に根付いた子どもを育成している。



【砂金掘り学習（大樹学）】

④【働き方改革を推進するコアチームの結成】

校務の整理と子どもへの指導を充実させるために、本校では、「業務改善委員会」を結成した。「できることから即実行」を合言葉に、まず、校内の環境整備から取り組み、校内行事の精選を主とした教育活動の見直し、業務への多面的なICT活用によって、多くの改善が図られている。



【校内の整理・整頓】

2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

□「チーム」としての集団意識の高まり

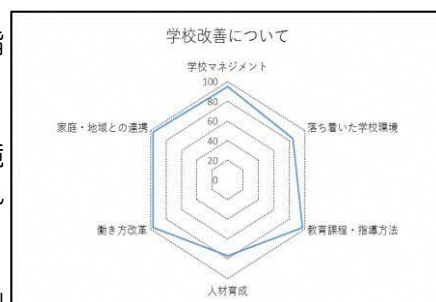
「チーム学校」としての集団的な取組により、共通した指導が徹底でき、子どもの確かな成長へ繋がっている。

□教え学び鍛え合う意識の向上

管理職だけではなく、全教職員が常時授業観察を行う環境が整えられ、職員間に「教え学び鍛え合う」意識が醸成された。

■特定の配慮を要する個への対応

集団対応への組織力は高まったが、個別対応への指導体制においては、改善が必要である。



【R2教職員アンケートより】